



式辞(要旨)
本日学院創立135周年記念式を迎え誠に喜びに耐えませんが、今日迄の135年間、歴代の関係各位のご努力とご支援に、深甚なる敬意と謝意を捧げるものです。

本日の創立記念日に第一に銘記することは、本学院が開祖道元禪師の教えを建学の精神とし明治9年創設の曹洞宗立の私学で、中部で最も古い伝統を持つ名門である事です。

愛知学院
創立135周年

創立135周年を期に

一層の充実・発展を

学院長 小出 忠孝

「学院大の飛躍的發展」

第二に戦後の学制改革に際し本学は時代の先端を走り、昭和25年に短大を、28年に道元禪師700回大遠忌の報恩事業として大学を創設した事です。戦後教育界の発展のトップをきった小出有三初代学

院長の先見の明と実行力に心から敬意を表すものです。

第三に昭和36年中部地区最初の歯学部を設置した事です。これにより本学のステータス



第177号

編集発行

愛知学院大学
事務局 庶務課

☎ 470-0195

愛知県日進市岩崎町
阿良池12

電話(0561)73-1111(代)

この様に本学は全国的に評価される大学に成長しましたが、私共は現状に甘んずる事なく、さらに向上発展させる

「教育内容の充実」

大量の大学卒業生を必要としました。これに対応し本学では次々と新学部・学科、大学院の増設、学部定員増を行い、社会の要請に応えました。その結果、現在8学部17学科、大学院9研究科、短大1学科に教職員1千名、学生1万3千名、同窓生11万有する中部最大級の規模と、充実した内容の私立の総合大学へと飛躍的に発展しました。一方学生の課外活動では多くのクラブが、或は選手個人が各種大会で優秀な成績をあげ、また卒業生の社会での活躍もめざましく、経済界始め各界でリーダーとして活躍しており本学の誇りとしています。

責任があります。その第一は教育内容の充実です。現在わが国の大学短大進学率は57%と上昇し、それに伴い学生の学力、学習意欲は著しく多様化しています。この様な学生に的確に対応し、社会の要請に応えるのが大学の使命です。社会の求める豊かな教養と専門的能力「学士力」を有する人材の養成が必要です。さらに学生が卒業後、社会的・職業的自立を図るために必要な能力「就業力」育成も要請されています。その上18才人口減少による大学全入時代という厳しい時代が到来します。

この様な状況で大学の学部は、「高度」の高等教育機関でなく「普通」の高等教育機関に変化している事に意識を改革する必要があります。この変化に対応し本学では授業内容の改善と共に、「学生の理解できる授業」を促進する様努めています。

「医療系分野の増強」

国民の健康長寿の要望に対し、本学では医療薬学科、健康科学科、健康栄養学科を、また大学院に薬科学研究科、健康科学専攻の研究科を増設し医療系分野を増強してきました。さらに来年は薬学部4年制の大学院博士課程を新設し、高度の薬学研究と共に、医療の高度化に対応するため高度・専門薬剤師等の教育にも努めます。また施設面では昨年、教学センター、健康管理センターが完成し、学生のキャンパスライフが快適となつていきます。現在本学棟の耐震改修工事中です。また補元校地では4号館の改修工事中で、完成後は補元校地の教室、研究室、食堂等が整備されます。さらに歯学部では病院北館の建替え工事を検討中で、歯科医学・医療のセンターとして充実を計ります。

「名城公園キャンパス」

一方創立135年に当たり大学の一層の飛躍を目指し、名城公園東の国有地に新キャンパス開設事業を開始します。勉学に最適な落ち着いた環境にあり、しかも名古屋経済圏の中心に位置し交通の便は最高です。この地区で商・経営と新設の経済の、ビジネス系三学部の二年以上の教育を、平成26年度より行う予定です。躍動する社会とより密接な連携のもと、教育の充実、強化を図ると共に、他学部の協力のもと、大都市名古屋の知的拠点を構築、さらに官公庁をはじめ経済界及び各界との交流拠点を形成します。また市民の生涯学習の拠点にふさわしい場所のため、市民講座や近隣商店街との連携等、経済・文化発展の核となることも目指します。大学ではこれを契機として教育・研究の発展と社会貢献のため一層邁進する覚悟であります。

「学院大学の誇り」

以上、本学では時代の変化に対応し絶えず改革の努力を続け、教育研究の充実を努めています。一方、私学として決して「変えてはならないもの」がある事を忘れてはなりません。それは創立以来堅持してきた建学の精神「行学一体・報恩感謝」です。この建学の精神を体した学生を、一人でも多く社会に送り出す事が、私学としての本学の特色であり使命です。本日創立135年の輝かしい歴史をふり返り、学院の今日ある姿を理解した時「学院大の教職員・学生であること」に大きな誇りを持つて頂きたい。そして本学が21世紀にさらに大きく飛躍するため、各人が夫々の立場で努力される事を望み創立135年記念の式辞とします。

創立135年を迎えて

社会が求める人材の育成と大学の課題

学長 大野 榮人

10月15日に愛知学院は、創立135周年を迎えました。改めて責任の重さを痛感しております。

今日に至るまで、愛知学院大学を支えて下さった教職員や11万有余名の同窓生や学生の皆様に対しまして、衷心より御礼申し上げます。

愛知学院は、明治9年(1876)の創立当初、曹洞宗の創立当初、曹洞宗の専門学支校として、曹洞宗の僧侶を養成する小規模の学校として出発いたしました。以来、曹洞宗第三中学校、愛知中学校、愛知高等学校、愛知学院短期大学へと規模を拡大し、昭和28年(1953)には、商学部商学科の愛知学院大学が創設されました。

今日、愛知中学校、愛知高等学校、短期大学および8学部17学科を擁する愛知学院大学へと発展し、大学院も9研究科13専攻が開設されました。総学生・生徒数は1万3千有余名を有する大規模な学校として発展を遂げてまいりました。

このように伝統のある愛知学院大学がさらなる発展を遂げていかねばなりません。発展できるかは、一人ひとりの教職員・学生の皆様の肩に懸かっています。

さて、東日本の災害ボランティアの説明会に343名の学生さんが参加して下さいました。その中から厳選させて頂き、54名が3班に分かれて参加して下さいました。ボランティアの活動地域は、岩手県気仙郡住田町・陸前高田市・大船渡市に参りました。

猛暑の日々の中、被災者を思いやる温かい気持ちをもってご参加下さいました学生や教職員の皆様に心より感謝申し上げます。

今日の日本は、東日本の大震災・福島原発事故・日本各地が台風被害に遭い、災害からの復興などやるべきことが山積しています。加えて円高が日本経済に大打撃を与えております。また、TPP(環太平洋連携協定)の参加の是非をめぐって大議論が展開されております。タイ国には、日本の多くの企業が進出しており、ほぼ全業が冠水し大被害をもたらしています。

このように、日本が危機的状況に遭遇している今、大学のみが「井の中の蛙」であっていいわけはありません。日本の再生に向けて、大学としてやるべきことは何か、全教職員が自問自答されなくてはなりません。

大学が大学であるためには、何よりもまず、社会が求める「人材の育成」がなされなくてはなりません。優れた人材を育成することは、容易なことではありませんが、それができなければ大学としての使命が終わることを、一人ひとりの教職員の肝に銘じてもらわなくてはなりません。

社会が求める人材は次のように類別できます。

(1)人間としての基礎能力として、「熱意・意欲、行動力、実行力、協調性、問題解決力、倫理的思考」の育成が必要であります。

(2)社会が求める能力として、

「高い倫理観、志、熱意・意欲、課題発見・解決力、問題解決の方法論、協調性、批判力、国際性、個性・特性・才能」などがあります。

(3)社会人としての基礎力は次の3点が必要であります。

①アクション「主体性、働きかけ力、実行力」など。②シンキング「課題発見力、計画力、創造性」など。③チームワーク「発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール」などの育成が必要とされます。

大学教育において、これらの課題を全てクリアすることは、実に大変なことでありますが、実行する以外ないのです。教員一人ひとりの教育が、社会が求める人材を育成するための教育になっているかどうか、自問自答してもらわなくてはなりません。

まず、学生自身に「やる気」を喚起させるためには、1年次の教育が最も重要です。生きたための「目的意識」を持つてもらい、何を主体的に学び、将来、如何なる職業に従事するか、を明確に設計してもらう必要があります。

それを体系的に実行していくためには、入試センター・教務部・学生部・キャリアセンターが個別に実行していくのではなく、一体となって取り組みをしなければなりません。目下、連携していく様々なことを計画中でありますが、全学部の教職員に協力をお願いすることは、実行していくことは不可能であり、是非ともご協力をお願い申し上げます。

大学が未来永劫、生き残れるかどうかは、一人ひとりの教職員の皆様の肩に懸かっています。責任を持って教育・研究をし、業務を遂行して頂くようお願い申し上げます。

10月15日

創立135周年記念式典を挙行

愛知学院創立135周年記念式典が10月15日(土)午前11時から日進キャンパス百周年記念講堂で挙行され、式典では小出学院長の式辞に続き、勤続表彰、クラブ表彰などが行われた。

また、平成23年度永年勤続表彰は次の皆さん。

40年勤続者	商学部	教授	寶多 國弘
経営学部	教授	大橋 靖雄	
教養部	教授	松浦 国弘	
短期大学部	教授	太田 功	
講義	山田 和代		
附属病院	准教授	山口 みどり	
歯科衛生長	衛生部主任	奥村 恵子	
35年勤続者	総合政策学部	教授	竹市 良成
経営学部	教授	北洞 忠宏	
教養部	教授	山口 正人	
准教授	大島 直樹		
歯学部	講師	佐藤恵美子	
歯科技工専門学校	講師	水谷 和裕	
講師	尾崎及太郎		
入試センター	次長	西尾 公司	

歯学部・薬学部図書館情報センター		主 任 中野 弥生	
管 財 課		技術主任 鈴木 裕之	
経 理 課		事務職員 安達みどり	
薬学部事務室		事務職員 佐野 早苗	
附属病院		看護士長 山田 和子	
看護士長 山田 和子		歯科技士長 岡田 通夫	
歯科衛生士 三浦依保美			
25年勤続者			
文学部		理事・教授 引田 弘道	
教 授 木村 英憲		経営学部	
教 授 岩田 憲明		歯学部	
准教授 前山慎太郎		准教授 水野 辰哉	
講 師 横田たつ子		講 師 安部 俊之	
用 度 課		事務職員 柴田 信雄	
情報処理教育センター		事務職員 鈴木 靖子	
附属病院		歯科衛生士 山羽 京子	
看護士 富田比呂子			
15年勤続者			
経営学部		教 授 向 伊知郎	
教 授 飯島 正樹		教養部	
教 授 小出 龍郎		文学部	
准教授 熊田 一雄			



歯学部 准教授 古川 博雄
心身科学部 教授 有地 榮一郎
講義 柴田 直樹
講義 新美 照幸
庶務課 長 福嶋 隆昭
人事課 長 大島 由起
法学部事務室 事務職員 梶原 佳緒里
歯学部事務室 事務職員 山野 桂子
図書情報センター 事務職員 尾野 ひとみ
ネットワークセンター 事務職員 佐藤 陽子
附属病院事務室 事務職員 近藤 充広
附属病院 准教授 前山 慎太郎
教養部 教授 岩田 憲明
経営学部 教授 木村 英憲
文学部 教授 引田 弘道
文学部 教授 水野 辰哉
准教授 横田 たつ子
安部 俊之
用度課 事務職員 柴田 信雄
情報処理教育センター 事務職員 鈴木 靖子
附属病院 准教授 山羽 京子
歯学部 准教授 富田 比呂子
15年勤続者 経営学部 教授 向 伊知郎
教授 飯島 正樹
教養部 教授 小出 龍郎
文学部 准教授 熊田 一雄

名城公園キャンパス

設置について

学校法人愛知学院は、平成23年10月1日付で東海財務局と名城公園東側敷地(名古屋市中北区名城三丁目3番地の2及び3、計23000.01㎡)の土地売買契約を締結いたしましたことをご報告申し上げます。

愛知学院は本年をもちまして創立135周年を迎えます。愛知学院大学は、建学の精神「行学一体」「報恩感謝」を基軸として、これまでに11万名以上の有為な人材を送り出してきました。文系の学部としては文学部、商学部、経営学部、法学部、総合政策学部、医療系の学部としては歯学部、薬学部、心身科学部および大学院9研究科を擁する総合大学です。在学生は1万2000名を超えています。歯学部と薬学部の学生は交通至便な千種区楠元町のキャンパス、

その他の学部の学生は日進市の緑ゆたかな15万坪の広いキャンパスにて勉学に励んでいます。

愛知学院は、創立135周年に臨み、大学のさらなる飛躍を目指して、新キャンパス設置事業を開始します。新キャンパスは、名古屋城の森の東側に隣接しており、勉学に最適な落ち着いた環境であり、しかも名古屋経済圏の中心に位置しています。ここに伝統と実績のある商学部と経営学部を進出させ、経済学部を新設する予定です。これらビジネス系三学部の2年生以上の専門教育を平成26年度より新キャンパスで行う予定であり、躍動する社会とのより密接な連携のもと、教育のさらなる充実・強化を図ります。

新キャンパスでは、ビジネス系三学部を中心として、総合大学の利点を活かして他学部の協力のもと、大都市名古屋の知的拠点を構築します。また官公庁をはじめ、内外の研究や経済界および各界の専門家との交流拠点を形成する予定です。

新キャンパスは中部地方の経済及び文化の中心に位置し、市民の皆さんの生涯学習の拠点にふさわしい場所です。市民講座や近隣商店街との連携をはじめとして名古屋の経済及び文化発展の核となることを目指します。

愛知学院大学は、これを契機により一層の教育・研究の発展と社会貢献のために邁進する所存です。今後ともよろしくご支援のほどお願い申し上げます。

学校法人 愛知学院 学院長 小出 忠孝

第9回 ボンド大学交換留学生決まる

今年で9年目となるオーストラリア・ボンド大学への交換留学生に文学部国際文化学科3年角南秀明君、文学部グローバル英語学科3年柏木翔子さんが決定した。

7月29日(金)日進キャンパスの耐震工事に伴い、仮事務局長室で奨学金伝達式が行われ、伝達式では、引田弘道国際交流センター所長、指導教官の先生らが見守る中、大野榮人学長より奨学金30万円がそれぞれ手渡された。

二人は9月初から12月末までの1セメスターを交換留学生として学習する。また、今

初めて角南君がボンド大学の学部生として出発。柏木さんはボンド大学附属語学学校BUELIで語学を中心に学ぶ。

角南君は11ヶ月間のカナダ留学の経験を経て、現地の大学生と交流することによって多くの刺激を受け、将来の自身のキャリアに活かしたい。柏木さんは国内で外国人と接した際、自身の語学力のなさと同時に視野の狭さを気づかされた経験がいかし、英語力の向上だけでなく、困難に直面した時に立ち向かい解決していく力を身につけ、社会に



必要スキルを身につけたいと抱負を語っていた。二人のオーストラリアでの学習が実り多きものとなることを祈念する。

事業計画

- 移転予定
 - 平成23年度 用地取得
 - 平成23年度下期 既存建物解体工事
 - 平成24年度～25年度 新キャンパス施設建設等工事
 - 平成26年4月 開校



- 整備コンセプト

都市再生プロジェクトを踏まえた地区計画の趣旨に合致した利用を図る。大学施設として整備するものであるが、併せて市民の憩いの場となるよう学内に広場を設けるとともに、市民講座等を広く行うなど、学習・交流・活動の拠点を形成する。

- 新キャンパスの配置対象

商学部・経営学部と新設の経済学部のビジネス系3学部を配置し、2年生以上の専門教育を行う予定。

※ 経済学部については、平成25年4月に新設を予定。

平成23年

物故者追悼会厳修

創立135周年記念式典が行われた10月15日午前10時より厳修された物故者追悼会では、小出学院長が導師をつとめ厳かに営まれた。

この日の慰霊の対象は、平成22年10月1日から平成23年9月30日までの間に逝去の届出のあった本学関係物故者56霊位(うち教職員36名、学生20名)。

ご遺族、教職員、大学後援会同窓会役員、学生らが参列し、読経の中参列者らが焼香をし、法要の最後に小出学院



長が挨拶を述べ、物故者の冥福をお祈りした。

生誕100年伊藤清永展に 日進キャンパス百周年記念講堂壁画 『釈尊4部作』出品

日進キャンパス百周年記念講堂にある伊藤清永画伯による壁画『釈尊4部作』を、画伯生誕100年を記念して開催される展覧会に出品される。伊藤画伯は1911年、兵庫県出石町(現豊岡市)に生まれ、生家は曹洞宗の吉祥寺で、幼少時より僧侶としての修行を受け、本学の前身である曹洞宗第三中学校を卒業。中学在学中から油絵を描き始め、卒業後は周囲の反対を押しのけて上京、東京美術学校西洋画科に入学。苦学しながらも白晝会等の展覧会に出品を続け、卒業の翌年1936

年には文部省美術展覧会に出品した大作が選奨となり、2回の応召の後、復員後は兄に代わって生家の住職を務めていたが、東京の自宅に戻り1948年第4回日展で特選を受賞。1984年より、画家であり仏教者である自覚から数年にわたり制作に邁進し『釈尊4部作』が完成した。この4部作の前に伊藤画伯には昭和15年に4年がかりで楠元の講堂に画面40坪近い大壁画を描いていただいたのだが、戦争の爆撃に遭い消失、日進キャンパス移転にあたり、

当時の竹田学院長・学長からの依頼を受けこの『釈尊4部作』は完成した。今回初めて門外に出品される。展覧会の日程は次の通り。
●兵庫県立美術館
12月10日～翌年1月22日
●名古屋松坂屋美術館
2月8日～26日
●伊藤清永美術館
3月3日～27日

(注)『釈尊4部作』は兵庫県立美術館のみ出品。他の開催はレプリカを展示。

降誕



説法



成道



涅槃



東日本大震災 ボランティア実施

本学では3月11日に東日本に多大な被害をもたらした東日本大震災の被災地の復興支援のためのボランティア派遣を検討してきた。今回、夏休み期間中にNPO法人 愛知ネットの協力を得て、岩手県気仙郡住田町を拠点として、陸前高田市、大船渡市にてボランティア活動することが決まった。

ボランティア派遣するに先立って、6月30日、7月13日の2回にわたり参加を希望する学生対象に説明会を開催したところ、合わせて354名の学生が集まり、当初の計画では夏休みに2班に分かれて2回の派遣を予定していたが、想定外の参加希望者が集まり、急遽3班に分かれて3回派遣することとなった。派遣の期間は、8月21日から26日、8月24日から29日、9月4日から9日までの期間で、各班とも学生18名、引率職員3名の合計学生54名、職員9名が岩手県陸前高田市、

大船渡市で被災地復興支援のためのボランティア活動を行った。各班とも出発日の午後7時半に日進キャンパス教務センター前に集合。バスに乗り込む前の出発式では学生達を前に大野榮人学長、黒神聡学生部長らが参加学生らに「学べるものは多いはず。気をつけて行ってきてください」と激励の言葉を送った。車中泊で約15時間後、活動拠点となる岩手県の住田町に到着。到着後、津波被害の爪痕も生々しい陸前高田市、大船渡市を、滞在中お世話になる現地バス会社のドライバーの案内のもと視察し、震災当時の想像を絶する状況を直接聞き、学生達は目の前の惨状と共に被害の甚大さを痛感させられた様子であった。その後、一夜明けて現地地で3日間ボランティア活動を行った。活動の中心は陸前高田市で直接津波被害を受けた田畑の草刈を中心に、陸前高



名古屋国税局 による 特別講演会 開催

愛知学院大学商学部と名古屋国税局の主催による特別講演会が、11月2日(水)午前11時から日進キャンパスけやきテラス3階ホールにて開催された。

この企画は国税局の「税を考える週間」の一環事業として行なわれ、近い将来社会人となる大学生に対し、広く税についての理解を深めることを目的とし、本学での開催は今年で6回目。

愛知学院大学商学部と名古屋国税局の主催による特別講演会が、11月2日(水)午前11時から日進キャンパスけやきテラス3階ホールにて開催された。

部次長稲垣孝司氏により、『税の役割と税務署の仕事』をテーマに行なわれた。当日は伊藤徳正商学部准教授の冒頭の挨拶の後、講演が行なわれ、学生にとってはまだ実感のない「税」について分かりやすく事例を用いながら説明がなされた。当日は300名以上が集まり、会場となったホールでは満席となり、熱心に講師の話に耳を傾けていた。

今年4月より自転車通学者を対象に各キャンパスの自転車駐輪場利用を登録許可制へと移行しました。10月末現在の登録台数は、日進キャンパスが1430台、楠元・末盛キャンパスが325台となっています。未登録車は駐輪場の利用ができませんので、学生課窓口及び各事務室(歯学部・薬学部・短期大学部)にて至急申請を行ってください。なお、未登録車は撤去対象となります。

また、先の新聞報道にもありましたが、今後自転車運転における悪質・危険な行為に対しては交通切符での摘発対象となります。無灯火、携帯電話の使用やイヤホンで音楽を聴きながらの運転、傘を差しながらの走行も指導の対象となりますので、絶対に行わないでください。

駐輪時のツーロックについても習慣とし、各自盗難防止に努めてください。

学生部学生課

著書紹介

『キーワードコレクション 認知心理学』

子安増生・二宮克美(編著)

認知心理学の基礎的な概念と最新の話題をバランス良く取り上げ、各キーワード4頁読み切りで、コンパクトながら必要十分な解説がなされている。25人の専門家による50のキーワードの解説を通じて、認知心理学の全体像を明らかにした本である。

編者ならびに執筆者として、総合政策学部の二宮克美教授がかかわっている。京都大学の子安増生教授との共編6部作である。

2011年7月初版。新曜社刊。2,520円。



就職活動について

4年生

今年の活動は東北・大震災の影響もあり、前半戦では大企業・有名企業が6月から採用活動を開始したため、昨年までの採用日程とはかなり異なった環境になりました。そのおかげを受けて、中堅・中小企業の採用戦略も変化しました。従来は大企業・有名企業が先に内定を出し、その後で中堅・中小企業が内定を出していくというパターンでした。しかし今年の場合は、地元の中堅・中小企業が内定を出した後に大企業・有名企業が内定を出しました。そのため中堅・中小企業が先に内定を出した学生たちを、大企業が後からさらっていくという変則的な構図になってしまいました。

キャリアセンターは卒業後も卒業生のフォローをしています。卒業したけれど未就職、あるいは自己都合や会社都合で退社した就職希望者などに向けての企業情報も集めていますのでご相談ください。

3年生

これから就職活動が始まる3年生について、本学では経団連が提唱した「12月1日から採用活動を開始」に準じて、企業説明会も12月1日以降から行ないます。昨年度までの企業の採用活動は10月1日開始から2ヶ月後ろにずれただけで、大企業・有名企業への就職活動までに期間がないと言われています。キャリアセンターでは就活に積極的な学生や、スタートダッシュを切りたいと考えている学生たちに呼びかけ、手を挙げてくれた学生に対し「JA（ジェイエー）プログラムを夏休み前から始め、11月末まで全12回の研修を行なって仕上げていきます。こうした学生たちが他の学生たちの牽引役を果たして行くことを期待しています。

一方、春先に就活がうまく行かなかった学生たちや、就活をしていなかった学生たちがよく動くようになりました。キャリアセンターでは「就活ラストスパート」と銘打って、10月から毎日1社ずつ、学内に企業をお招きし、会社の説明および1次面接を同時に行なっていたでいます。学

また「JAプログラム」に参加していない学生に対しては、各種の講座（無料）を盛り沢山用意して、全学で行なうガイダンスなどで案内をしています。

全学年

最近の企業採用の現場においてはSPIテスト（エスビアイ・シンセティック Personality Inventoryの略）を導入する企業が多くなっています。採用の現場では、このテストの得点が高くなければ面接までたどり着けないという形式になっています。SPI2テストには言語問題、非言語問題（多くは中学から数1までの問題）が出題されます。本学の学生は特に非言語問題が不得手で、この部分で総獲得点数が低くなり、面接までたどり着けないことがままあります。本学でも力を入れて復習の機会を作っていますが、ご家庭に置かれても、3年生のみならず低学年次からこのSPI2の解き方練習を反復して行なうようにご子女にお伝えいただければと思います。

キャリアセンター就職課長 中尾 猛



第59回 愛学祭 テーマ「Memory」

第59回となる愛学祭が11月3日から5日までの3日間、日進キャンパスで開催された。

今年のテーマは「Memory」。このテーマには、愛学祭に参加していただいた人や、来場していただいたお客様に、愛学祭で思い出を作ってもらいたいという思いを込めたものであり、また、運営する愛学祭実行委員会一同も皆さんと共に思い出に残る愛学祭を作り上げたいという願いが込められている。

主な学術企画として、文化系サークルの研究成果発表の「学問の散歩道」。本学の教員による「ミニセミナー」スポーツ企画として、「フリースロー大会」「フットサル大会」「ソフトボール大会」など。また、各種ステージ企画や模擬店など盛りだくさんの企画が行われ、会場は大いに賑わった。



今年のゲストは、ドラマ、映画などで活躍中の若手俳優でタレントのユージで、「NOいけめん NOらいふ〜COOLなだけじゃないトーク笑〜」と称し、大勢の聴衆が詰めかけた。様々な個性ある人が集まり、様々な思い出（Memory）を胸に第59回愛学祭「Memory」は、盛況の内に幕を閉じた。



オープンキャンパス

高校生ら10076人が参加

今年もオープンキャンパスが春4月17日（日）、夏7月30日（土）、31日（日）、秋10月22日（土）に開催され、昨年より888人（109.7%）多い10076人の高校生らが訪れ賑わった。

オープンキャンパスは高校生や保護者にキャンパスを開放し、愛知学院大学をより知ってもらうためのイベントで、学部教員による個別相談会、模擬講義、保護者対象説明会、予備校講師による受験対策講座、入試・資格・就職等の相談コーナーや、在学生によるキャンパスツアー、サークル体験など、内容も充実している。

また、先日開催された秋のオープンキャンパスでは昨年より539人（139.7%）多い高校生や保護者の方が来場し、特に小論文対策講座などの入試対策講座に多数の方が参加し、問答に迫った入試に備えるため熱心に聞き入っている。

夏のオープンキャンパスで高校生らの関心が最も高かったのは、カリキュラムや学習支援体制を中心とした学部学科別相談会や入試などの説明会で、また模擬講義にも多数の高校生が参加し大学の講



硬式野球部

秋季リーグ完全優勝

三連盟王座決定戦も勝利し明治神宮大会へ

10月18日、豊田市運動公園で第7週の3回戦があり本学は全校から勝ち点を挙げる完全優勝を果たした。4季連続43度目の優勝。

秋季リーグの最優秀選手賞に古谷慎太郎君（経営学科4年）、特別賞に浦野博司君（現代社会法学科4年）が選ばれ、ベストナインに浦野君が投手で選ばれた。

また、11月1日（火）瑞穂球場において、愛知・東海・北陸3連盟王座決定戦が行われ、愛知大学野球連盟2位の愛知工業大学に勝利し、4年



本学ゴルフ部1部に昇格

中部学生ゴルフ秋季学校対抗戦が9月13・14日の両日、三重県の津カントリークラブで3部までの11校が参加して行われ本学が優勝し、第55回信夫杯争奪に本学学生ゴルフ対抗戦の出場を決めた。

また、同時に1部、2部、3部校の入れ替え戦も兼ねて

小島大輝君

経営学部現代企業学科4年

中部学生ゴルフ連覇

第41回中部学生ゴルフ選手権が8月10日三重県鈴鹿市の中日カントリークラブ（7033ヤード）で決勝の18ホールが行われ、本学経営学部現代企業学科4年の小島大輝君がこの日パープレーの72で回り、通算1オーバーの217で昨年に続き連覇を果たした。昨年は大雨で試合が54ホール

から36ホールに短縮され、本人もビックリの「タナボタ逆転優勝」だったが、今年は実力通りの内容で連覇を飾った。決勝ラウンドでは初め1、2、4番でパーディーを奪って首位に立ち、2位に2打差をつけたが、途中再逆転されたが、9番でパーディーを決め追いつき優勝を決めた。今後の小島君の活躍に期待したい。

愛知学院大学 平成23年度文部科学大臣委嘱 図書館司書・司書補講習開催

本学での講習は、昭和27年に補元キャンパスにて開始してから、今年で58回目になります。その間、約8600名に及び司書・司書補資格者を養成してきました。本学の講習で資格を取得された方々が、東海地区を中心に、多くの図書館にて活躍されています。

7月15日(金)に日進キャンパスのやきテラス3階ホールにて開講式が行われ、大野榮人学長、来賓の愛知県文化センター愛知図書館・本田保雄館長、講習の講師を代表して総合政策学部・二宮克美教授から挨拶をいただきました。開講式終了後、受講者に図書館情報センターを見学

していただきました。この講習は、司書は20単位、司書補は15単位取得しなければなりません。講習の期間は、真夏の暑い時期での約2ヶ月間に渡っての集中講義です。受講生の皆さんは自分の健康管理をしながら、資格取得という目標をもって熱心に講義を受けておられました。台風12号の影響で、司書の1科目がまる1日分振替授業になった以外は、順調に講習が行われました。

8月26日(金)に司書補の開講式を、9月16日(金)に司書の開講式を執り行い、無事に今年度の講習を終えました。

「第1回 図書館情報センター主催 スタンプラリー」開催

今年度新企画として「図書館情報センタースタンプラリー」を展開し、多数の参加者にご参加いただきました。本学図書館情報センターの利用者である学生・大学院生、教職員の皆さんに、図書館に親しむを感じ、もっと活用してもらおうと共に、館内の充実した設備やサービス内容をより知ってもらうことを目的としています。

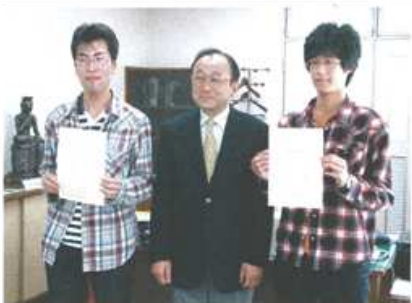
ルールは、図書館に関連したクイズに正解、データベース講習会に参加、図書館施設の利用、本の貸出等でポイントを獲得していきます。10ポイント以上で景品(文房具等)と交換でき、30ポイント獲得者をマイスターとして認定します。

実施期間は、平成23年4月5日(火)から7月15日(金)、参加人数は約2000名でした。ポイント獲得者は、9ポイント以下多数、10ポイント19ポイント12名、20ポイント29ポイント8名、30ポイントは2名でした。

去る9月27日(木)に図書館情報センター館長室にて、宝多館長より30ポイントを獲得した法学部現代社会学科4年大下晃司さん、文学部歴史学科2年鬼頭秀暢さんに、「ブロンズ・マイスター」の認定書を授与致しました。大下さんは「この図書館はとっても明るい雰囲気、設備も大変充実しているの、大好きな図書館です」、鬼頭さんは「1年生のときは、ほと



は133名、受講者は113名、修了者は95名、司書講習の申込者は24名、受講者は21名、修了者は18名でした。
図書館情報センター事務長 足立祐輔



図書館情報センター事務長 足立祐輔

海外語学研修に参加して イギリス・カナダ・オーストラリア

イギリスコース 文学部国際文化学科 1年 井田 佳規

私はスコットランドのエディンバラ大学で語学研修をさせていただきました。エディンバラは中世の建築物が多く残っている街並みのある首都です。それに加えて食べ物のフィッシュアンドチップス、街中には2階建てのバスなどが走っており、ちょうど研修中にお祭りも催されて日本では見慣れないものがほとんどでした。

最初はホストファミリーとうまく過ごせるかどうか不安でしたが、エディンバラの人々の温かい人柄のおかげですぐ不安はなくなりました。その上、貴重な体験をさせていただきました。日本人が常識だと思えることが通じなかったり、そのことから新しい発見を肌で感じられることで異文化を理解できて、英語力を向上させる良い経験ができました。

カナダコース 心身科学部健康科学科 2年 早川 正浩

海外へ行くことは、言葉だけでなく食事や文化も違う。日本ではマナーとされていることが、海外では不思議に感じられることもある。ですが、カナダで過ごした一ヶ月間は驚くほど早く時間が過ぎました。僕は初め、研修に参加するかどうかとても迷っていた。説明会でお話を聞いてもなかなか決断できませんでした。けれどこれからの自分自身のためと思い、参加するに至りました。そして、研修を終えた今、参加してよかったと心から思うように思えます。カナダの人達は親切な方ばかりで、生活にもすぐに慣れることができました。

正直英会話には自身がなく、授業が特に不安でしたが、授業の先生方は丁寧に話してくださり、また、最初に行われたテストでクラス分けをしたため、自身のレベルにあった内容を受講することができました。ホストファミリーの方たちもとても優しく、家での過ごし方が違えど僕たちに気



海外へ行くことは、言葉だけでなく食事や文化も違う。日本ではマナーとされていることが、海外では不思議に感じられることもある。ですが、カナダで過ごした一ヶ月間は驚くほど早く時間が過ぎました。僕は初め、研修に参加するかどうかとても迷っていた。説明会でお話を聞いてもなかなか決断できませんでした。けれどこれからの自分自身のためと思い、参加するに至りました。そして、研修を終えた今、参加してよかったと心から思うように思えます。カナダの人達は親切な方ばかりで、生活にもすぐに慣れることができました。

オーストラリアコース 文学部国際文化学科 2年 田辺 英毅

「現地では感じることもできない文化や価値観の違いを感じ、吸収し、また拙い英語でも積極的に話していき、少しでも力をつけた。」「その壮行会で宣言し、多くの期待と緊張が入り混じった気持ちで僕たちは日本を旅立った。オーストラリアでの生活は渡航する前の期待をはるかに上回るものだった。僕たちのホームステイしたゴールドコーストは、綺麗で広大な海が自慢のオーストラリアで有数のリゾート地の一つだ。オーストラリアは南半球に位置し、季節は日本と逆の冬で、朝晩はかなり冷え込むこともあるが、昼はとても暖かかった。

そんな素晴らしい環境の中ホームステイが始まった。大学の授業は自分の力に合わせたクラスに割り振られる。そのクラスには様々な国から来た留学生達がいたが、最初の頃は自分の英語に自信が持てずクラスメイトや先生、ホストファミリーと思うように会話ができませんでした。また、ほぼ一日中英語づきの状態は初めの頃は辛かった。「英語を聞いて日本語の意味

海外という日本以外の国に行くことにより日本語を使う機会が減り、いつしか英語をもっと話そう、そう思えるようになった。日本では英会話を学ぶこともできますが、日本にはない環境や日本では見ることができない景色の中で英語を学んだこの一ヶ月は、自分にとってとても大きな経験になりました。この経験を活かすかどうかは自分次第であり、これに終わらず更にステップアップしたいと思っています。ほか13人の研修仲間や引率



海外という日本以外の国に行くことにより日本語を使う機会が減り、いつしか英語をもっと話そう、そう思えるようになった。日本では英会話を学ぶこともできますが、日本にはない環境や日本では見ることができない景色の中で英語を学んだこの一ヶ月は、自分にとってとても大きな経験になりました。この経験を活かすかどうかは自分次第であり、これに終わらず更にステップアップしたいと思っています。ほか13人の研修仲間や引率

に訳して、その答えを英語にして答える。という作業に慣れるまではそれだけで疲れてしまったが、次第に耳が慣れ余裕ができて、クラスメイト達や先生、ホストファミリーと拙いながらもコミュニケーションが取れてくると自信もついてきた。しかし、自分の英語では伝えたくても伝えられないもどかしさを知ると、もっと英語力をつけたいと思った。

そして、授業後は友達とテニスやタッチフット、ビーチバレーで体を動かしたり、バスに乗り近くの大きなショッピングモールや観光地に行ったり、毎日充実した日々を過ごし友情を深めたことは今でも素晴らしい思い出の一つだ。たった1ヶ月。しかし、多くの異文化に触れ、自分の視野を広げられたことはきっと人生の糧になると思っている。研修を終えて日本に帰ってくると改めて日本の生活や風習に疑問を持ったり、逆に日本の素晴らしさに気付くことができた。こんな充実した価値のある時間は僕が今まで生きてきた20年の中で経験したことはなかった。この機会を与えてくれた両親、ホストファミリー、一緒に参加した仲間達、研修に協力してくれた全ての方々に感謝したい。

平成23年創立記念日クラブ表彰一覧(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

▷一般表彰(団体の部)

クラブ名	大会名	成績
弓道部	全日本学生弓道選手権大会	男子団体：ベスト8
ソフトテニス部	春季東海学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会	優勝
◇	第83回愛知学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦	優勝
◇	全日本大学ソフトテニス王座決定戦	3位
◇	西日本大学対抗ソフトテニス選手権大会	準優勝
◇	全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会	ベスト8
◇	第84回愛知学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦	優勝
硬式野球部	愛知大学野球秋季リーグ戦	優勝
◇	愛知・東海・北陸3連盟王座決定戦	優勝
◇	愛知大学野球春季リーグ戦	優勝
◇	全日本大学野球選手権	ベスト8
ゴルフ部	中部学生ゴルフ学校対抗戦	優勝
柔道部	東海地区学生柔道夏季優勝大会	優勝
バレーボール部	愛知オープンバレーボール選手権大会	優勝
ボクシング部	第49回中部学生ボクシング選手権大会	優勝
◇	第50回中部学生ボクシング選手権大会	優勝
ウエイトトレーニング部	中部学生ボディビルディング選手権大会	優勝
日本拳法部	中部日本学生拳法選手権大会	優勝
射撃部	第79回中部学生ライフル射撃選手権大会	10mエアライフル立射40発競技：優勝
空手道部	秋季東海地区大学空手道選手権大会	女子団体組手：優勝
◇	日本空手協会東海地区空手道選手権大会	男子個人組手：優勝
バレーボール部(女子)	東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会	優勝
◇	天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会愛知県ラウンド	優勝

▷一般表彰(個人の部)

学科	氏名	クラブ名	大会名	成績
商	荒武 光	ソフトテニス部	秋季東海学生ソフトテニス選手権大会	ダブルス：優勝
商	後藤 渉	◇	秋季東海学生ソフトテニス選手権大会	ダブルス：優勝
ビジネス	村田 直樹	◇	東海学生ソフトテニス シングルス選手権大会	優勝
ビジネス	◇	◇	西日本学生ソフトテニス シングルス選手権大会	準優勝
経営	古屋慎太郎	硬式野球部	愛知大学野球秋季リーグ戦	ベストナイン(外野手)
現社	浦野 博司	◇	愛知大学野球春季リーグ戦	最優秀選手賞(外野手)
法律	田中 友博	◇	愛知大学野球春季リーグ戦	ベストナイン(遊撃手)
ビジネス	松井 準	準硬式野球部	東海大学準硬式野球秋季リーグ戦	ベストナイン(遊撃手)
ビジネス	◇	◇	東海大学準硬式野球春季リーグ戦	ベストナイン(捕手)
現企	塚原 達也	◇	東海大学準硬式野球秋季リーグ戦	ベストナイン
ビジネス	古本 義宣	◇	東海大学準硬式野球秋季リーグ戦	本塁打賞
経営	中嶋 亮太	◇	東海大学準硬式野球秋季リーグ戦	本塁打賞
商	上原 弘登	◇	東海大学準硬式野球春季リーグ戦	ベストナイン(遊撃手)
現企	小島 大輝	ゴルフ部	中部学生ゴルフ選手権競技	優勝
法律	岡本 健吾	柔道部	東海学生柔道冬季優勝大会	優秀選手賞
法律	◇	◇	東海学生夏季優勝大会	優秀選手賞
健康	渡邊 理也	◇	東海学生夏季優勝大会	優秀選手賞
歴史	山本 賢太	◇	愛知県別業選手権大会	式段の部：優勝
歴史	◇	◇	全日本ジュニア柔道 体重別選手権愛知県予選	100kg級：優勝
歴史	◇	◇	全日本ジュニア柔道 体重別選手権東海地区予選	100kg級：優勝
日文	楠田 昇也	◇	東海学生柔道体重別選手権大会	100kg超級：優勝
薬	神谷絵梨奈	スキー部	全国学生岩岳スキー大会 基礎スキーの部	女子個人演技：総合2位
薬	高井 悠貴	◇	全国学生岩岳スキー大会 基礎スキーの部	男子個人演技：総合5位
現社	近藤 哲平	相撲部	全日本学生相撲個人体重別選手権	75kg未満級：ベスト8
経営	高田 司	◇	全日本学生相撲個人体重別選手権	75kg未満級：ベスト8
商	深谷 峻平	馬術部	愛知学生トライアル競技会	総合科目馬場馬術2スター：優勝
経営	永井 慎一	バレーボール部	西日本大学バレーボール五学連男子選抜対抗戦	ブロック賞
現社	大場 憲人	ボクシング部	第65回国民体育大会	5位入賞
現社	◇	◇	第49回中部学生ボクシング選手権大会	フライ級：優勝
現社	◇	◇	第50回中部学生ボクシング選手権大会	バンタム級：優勝
法律	浅井 裕貴	◇	第49回中部学生ボクシング選手権大会	ウェルター級：優勝
法律	◇	◇	第50回中部学生ボクシング選手権大会	ウェルター級：優勝
法律	鈴木 慎二	◇	第50回中部学生ボクシング選手権大会	フライ級：優勝
健康	荒川 喜明	ウエイトトレーニング部	全日本学生ボディビル選手権大会	4位入賞
経営	榎原 一範	◇	第22回中部学生秋季 パワーリフティング選手権大会	男子82.5kg級：優勝
経営	◇	◇	第43回中部学生パワーリフティング大会	83kg級：優勝
総合	越山 祐樹	◇	第43回中部学生パワーリフティング大会	74kg級：優勝
現社	三浦 萌	陸上競技部	東海学生陸上競技対校選手権大会	女子やり投げ：優勝
現社	◇	◇	愛知レディース陸上競技大会	女子やり投げ：優勝
歴史	木村 萌美	水泳部	中部学生短水路選手権水泳競技大会	400m個人メドレー：優勝
健康	大西 智子	◇	兵庫県選手権水泳競技大会	100mバタフライ：優勝
日文	橋本 佳織	射撃部	第79回中部学生ライフル射撃選手権	10mエアライフル立射40発競技：優勝
日文	◇	◇	第80回中部学生ライフル射撃選手権	10mエアライフル立射40発競技：優勝
法律	井上 陽裕	◇	中部学生ライフル射撃伏射大会	10mエアライフル伏射60発競技：優勝
ビジネス	松下 純一	◇	中部学生ライフル射撃三姿勢大会	10mエアライフル三姿勢X20発競技：3位の成績
健康	齋藤 敏輝	ソフトボール部	東海地区大学ソフトボールリーグ戦	ベストナイン(三塁手)
健康	二村 智代	空手道部	春季東海地区大学空手道選手権大会	女子個人組手：優勝
健康	◇	◇	日本空手協会 東海地区空手道選手権大会	女子個人組手：優勝
健康	塚本 尚子	バレーボール部(女子)	東海大学男女バレーボール リーグ戦春季大会	リベロ賞・サーブシープ賞
商	竹本 由美	◇	東海大学男女バレーボール リーグ戦秋季大会	セッター賞
商	◇	◇	東海大学男女バレーボール リーグ戦春季大会	セッター賞

この1年間、対外活動・試合などで優秀な成績を収め、本学の名を高めた文化系・体育系クラブ(団体・個人)に対する「平成23年創立記念日クラブ表彰」が10月15日に行われた。

表彰の対象となる期間は平成22年10月1日から平成23年9月30日までの1年間。団体は、日本代表になったクラブ、全日本選手権大会で8位入賞まで、地方大会で優勝または準優勝、中部・東海地区大会で優勝、県大会で優勝したクラブ。個人は団体と同ランクの成績を取った者のほか、最優秀選手賞やベストナイン等を受賞した者、その他、活動が特に顕著であったクラブや個人。

今回は団体26クラブ、(うち歯・薬学部14クラブ)と個人77人(うち歯・薬学部・短大部39人)が表彰を受けた。

▷歯学部(団体の部)

クラブ名	大会名	成績
ラグビー部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	第3位
硬式野球部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	優勝
硬式庭球部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	総合：準優勝 男子団体：準優勝
サッカー部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	第3位
ボウリング部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	総合：準優勝 団体チーム：準優勝
弓道部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	総合：優勝 男子団体戦：第3位
空手道部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	総合：優勝 男子団体戦：優勝
少林寺拳法部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	総合：優勝 団体演武の部：優勝
日本拳法部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	総合：優勝
アーチェリー部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	総合：第3位 男子団体：第3位
陸上競技部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	男子4×400mリレー 第3位
ヨット部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	総合：優勝
バインドボール部	JPA クワナオープン	ビギナークラス 優勝

▷薬学部(団体の部)

クラブ名	大会名	成績
薬学部剣道部	第41回中部医歯薬剣道大会(歯学部合同)	女子団体：優勝
◇	第65回関西薬学生連盟剣道大会	男子団体：優勝 女子団体：優勝

▷歯学部(個人の部)

学年	氏名	クラブ名	大会名	成績
5	杉本 真一	バドミントン部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	男子シングルス：優勝
1	早川 亜希	卓球部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	女子シングルス：優勝
5	江幡 香里	ボウリング部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	オールラウンド：ダブルス：第3位
4	岡本 直樹	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	ダブルス：第3位
4	榎原 一宏	柔道部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	73kg以下級：準優勝
2	土屋 鑑大	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	無段の部 第3位
1	中島 康智	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	無段の部 第3位
2	近藤祐太郎	剣道部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	男子個人戦 初・無段の部：優勝
3	鈴木 康平	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	男子個人戦 初・無段の部：準優勝
1	岩田 侑馬	少林寺拳法部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	新入会の部：準優勝
1	沼本真一郎	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	新入会の部：準優勝
2	杉 香奈子	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	段外の部：優勝
2	吉岡 真悠	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	段外の部：優勝
2	小澤 智久	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	段外の部：第3位
2	濱地 峻純	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	段外の部：第3位
3	川原 優	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	初段の部：優勝
3	宮園 将也	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	初段の部：優勝
3	今岡 功喜	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	初段の部：第3位
3	齋藤 瑞希	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	初段の部：第3位
4	徳田 篤紀	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	二段以上の部：優勝
4	鳥井 祐作	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	二段以上の部：優勝
6	江崎亜希子	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	二段以上の部：準優勝
6	川島 由衣	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	二段以上の部：準優勝
5	鈴木 貴大	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	二段以上の部：第3位
5	鈴木 崇之	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	二段以上の部：第3位
2	杉 香奈子	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	単独演武 段外の部：優勝
4	徳田 篤紀	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	単独演武 有段者の部：優勝
2	保坂 太紀	日本拳法部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	新人戦：優勝
2	後東 伸	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	新人戦：準優勝
4	内藤 裕嗣	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	個人戦：優勝
5	宗金 一考	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	個人戦：準優勝
1	大池 由記	アーチェリー部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	新人女子 準優勝
3	伊東 雅哲	陸上競技部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	男子200m：優勝 男子400m：優勝
3	◇	◇	全日本医歯薬獣医大学陸上競技大会	男子400m：優勝
4	中道 瑛司	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	男子走幅跳：第3位
4	西脇 崇介	ヨット部	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	個人総合：優勝
4	鳥居 誠悟	◇	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	個人総合：優勝

▷薬学部(個人の部)

学年	氏名	クラブ名	大会名	成績
3	阿知波侑子	薬学部剣道部	第65回関西薬学生連盟剣道大会	女子個人：優勝
5	佐野 友香	薬学部卓球部	第65回関西薬学生連盟剣道大会	女子シングルス：準優勝
5	竹内 健人	薬学部陸上競技部	第11回全日本薬学生対抗陸上競技大会	射撃競技：男子400m：優勝
2	森田 愛	◇	第11回全日本薬学生対抗陸上競技大会	女子100mハードル：準優勝

▷短期大学部(個人の部)

学年	氏名	クラブ名	大会名	成績
1	廣瀬 葵	スポーツ愛好会	第43回全日本歯科学学生総合体育大会	やり投げ：第2位